

学校評価特集号NO8 その他 全般

先生や学校に対して、感謝の言葉やお叱りの言葉も多数ありますので、ご紹介します。

- ## 感謝
- 先生一人一人があいさつをきちんとされていてとても気配りをされています。
 - いつも、子どもの様子を詳しく伝えていただき、ありがたく思っています。問題が起こったときなど早く対応していただき、安心できました。
 - 学級通信を読み、子どもの心の成長を感じています。先生が子どもたちの言葉や心の動きに、しっかりと目を向け寄り添っておられるのだと思います。
 - PTA 活動やボランティア活動に参加する機会が増え、先生方との距離も近くなっていきました。そんな中、先生方の思いなどを知ることができて、感謝の気持ちも一層大きくなりました。
 - 病気でも子どもが「学校に行きたい」というすばらしい学校です。
 - 性教育は早いと思っていただけ命の大切さを知るにはとても良いと思う。

- ## 苦言
- 担任に恵まれても、トップに立つ先生の対応や認識一つで先生ではなく学校への不信感につながる。
 - 親と学校側で温度差がある。
 - 前の学年で検査を受けていたが、引継がなされておらず、がっかりした。
 - 下校時刻と宿題の量を考えてほしい。
 - 6時間も授業があり、習い事もしており宿題も多いので寝る時間が遅くなる。毎日睡眠不足。
 - 言葉遣いが悪い女の先生がいると聞いている。アンケートなどに余計なことを書かないでと話が表に出ることをいやがる。
 - このアンケート自体意味があるのか。
 - 記名式では、言いたいことも書けない。



皆さんのご意見、検討していきます。

美咲野小だより



NO.22
H30.3.14
大津町立
美咲野小学校
文責：草場ルミ子

全般

- 標準服の対応を考えてほしい。(長スポン着用の必要性・LGBT 等、多様性の考えからも男はズボン、女はスカートという概念が子どもに入るのは問題では?)
- 道路での飛び出しが今も多い。
- 文房具の決まりを緩和してほしい。
- 1年中、水筒持参にしてほしい。など

職員のチームワークと働き方改革



この1年間、いろいろありましたが、左のグラフの通り、職員のチームワークは向上し、なんとか乗り越えることができそうです。保護者の皆さんからは、下記のような職員をいたわる声もお寄せいただき感謝しています。

職員の声

- 行事等を見直して、もう少しゆとりある日々が送れたら、もっと子どもたちと関わる時間も増えるのではないかと思う。

保護者の声

- 毎日、子どもたちの前で笑顔を見せるのも、並大抵のことではないと思っています。私たちが子どもの頃より、たくさんの情報を保護者に下さっていると思います。少しでも先生方の負担が減ると良いと思っています。
- 先生方には、子どもたちのために尽力していただきありがたく思っています。一方で、多くの先生が毎日遅くまでお仕事なさっているようで、心配しています。いろいろなお考えがあるでしょうが、先生たちの負担が少しでも減ればと思います。PTA 主催のイベントに、多くの先生方が来て下さるのはありがたいですが、「お休みの日に、先生が来るのは当たり前」ではない方がいいと個人的には思います。
- 先生方を見ていると、気苦労もとても多いだろうなと心配になります。少しぐらい失敗してもかまわないくらいの気持ちで、子どもたちの指導にあたってくださっても私はよいと思っています。

禁煙考の

「1月は行く」「2月は逃げる」「3月は去る」と言います。本当にあつという間に月日が過ぎていきます。今年度は、インフルエンザによる学級閉鎖は、例年に比べると少なかったのですが、「ここに来て、先生たちが、次々とインフルエンザに罹っています。担任の先生が休む場合は、補欠計画を出して、誰が担任の替わりにそのクラスに入ってくるのかなことをするのとかという計画を出し、担任を持たない教務主任や主幹、専科の先生、あるいは学年部で対応します。しかし、一度に複数の先生が休んでしまうことになり、それも回れなくなり、結局、子どもたちにも迷惑をかけるようになってしまうことになり、日頃から、疲れがたまっている、病氣にも感染しやすいようです。学校はブラック企業と云われませんが、本気で働き方改革をやっていないか、結局は、子どもたちに、迷惑がかかることになり、私が元氣じゃないと！と自分を奮い立たせる毎日です。最近、私が元氣じゃないと！と自分を奮い立たせる毎日です。